

2021年12月7日
JR九州ステーションホテル小倉

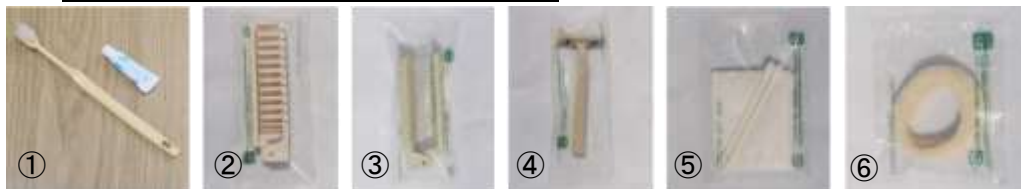
ホテル全アメニティを ECO 包材 & ECO アメニティへ

～本取り組みでプラスチックごみの年間約650kg削減(削減率 46%)を目指します～

JR九州ステーションホテル小倉株式会社(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:野栄明文)の運営するJR九州ステーションホテル小倉は、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取り組みの一環として、今年6月に公布された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い示された、ホテル業における特定プラスチック使用製品等の使用量削減に対応するため、2022年1月末を目途に客室アメニティをECO アメニティへシフトします。併せて、一部アメニティの提供方法についても客室常備からご希望頂いたお客さまだけにお渡しするスタイルに変更し、プラスチックゴミ削減を推進して参ります。

当社では、SDGs 未来都市・北九州市の企業として SDGs 達成に向けた関連活動にも引き続き取り組んでまいります。

▶ ECO 素材へシフトする客室アメニティ



	品目	詳細	ターゲット
1	歯ブラシ	竹由来成分のバイオマスを34～35%配合	12 持続可能な消費
2	ツーウェイブラシ	藁由来成分のバイオマス50%配合	
3	ワンウェイブラシ	トウモロコシ由来成分のバイオマス50%配合	
4	カミソリ	トウモロコシ由来成分のバイオマス20%配合	14 持続可能な消費
5	コットンセット	コットンパフと紙軸綿棒	
6	ヘアバンド	素材の95%以上に自然素材であるコットンを使用	

※上記アメニティ包材は植物由来のバイオマスを含む包材を使用しております。

※本取り組みについては、必要に応じて見直す場合がございます。

ホテル HP はこちら→



▶ アーカイブス

JR九州ステーションホテル小倉(株)のSDGsに関するこれまでの主な取り組みをご紹介します。

分類	項目	取組内容	ターゲット
環境保全推進	二酸化炭素(CO2)排出量削減	社内会議を完全ペーパーレス化	7 持続可能なエネルギー、8 持続可能な産業とイノベーション、11 持続可能な都市とコミュニティ、12 持続可能な消費、13 気候変動、14 持続可能な海洋資源、15 持続可能な陸域生態系
		電子決済システム導入	
	プラスチックゴミ排出量削減	電子レジカードシステム導入	
		生分解性プラストロー導入 マイウォーターボトル持参のお客さまへの冷水サービス開始	
食料ロス削減	3010運動の推奨	15 持続可能な陸域生態系、17 パートナーシップ	
	ホテル従業員対象サブスクリプションサービス開始		
社会への貢献	地域社会との連携と貢献	北九州SDGsクラブ入会登録	3 持続可能なエネルギー、8 持続可能な産業とイノベーション、10 持続可能な公平な社会、11 持続可能な都市とコミュニティ、12 持続可能な消費、13 気候変動、14 持続可能な海洋資源
		北九州SDGs登録制度登録証受	
		全客室へ光触媒コーティング剤塗布により安心安全な空間を提供	
		医療従事者への支援活動(シャワーキャップ寄贈)	
スガのバカチン	法令遵守	コンプライアンス研修実施	3 持続可能なエネルギー、5 持続可能な性別平等、8 持続可能な産業とイノベーション、10 持続可能な公平な社会、16 持続可能な平和と公正
		ホットライン設置	
		企業倫理委員会開催	